

## 第 1 節 幼児期の道徳性の芽生えと善悪の判断に関する研究

山村 雅宏

### 要約

「社会が理想とする人間像を目指して行われる人格形成」はどの時代の社会にあって普遍であり、人間の社会生活において不可欠である。社会における共通のマナーやルールを守ること、相手を思いやることといった道徳性を担っている。子どもの徳育については、発達段階ごとの特徴を踏まえることが重要である。幼児期から学童前期における「してよいこと、してはいけないこと」など善悪の判断についての指導が大切である。道徳性を育成するといっても、幼児期にその規範すべてが身に付くものではない。幼児らしい生活を展開する中で心地よい体験や心地よくない体験を繰り返し積み重ねて自分の世界を広げ自己を形成している。今回の調査は、子どもに課題の絵を見せながら聞き取り調査を行った。女の子の笑顔の絵、女の子の普通の顔の絵と、光ったコップの絵、割れたコップの絵を見せながら、女の子の行動を話しながら、その女の子が「いい子かな、悪い子かな、それはなぜ。」と尋ね、子どもの善悪の枠組みがどうなっているかを具体的にとらえるための調査を行った。

### キーワード

道徳性の芽生え、善悪の枠組み、良い子・悪い子、発達段階の心理

### 1. 問題提起

- ・幼児が成長する過程の中で、自我が芽生え、他者の存在を意識することから自己を抑制しようとする心の働きが生まれる。
- ・自他の分化が少しずつ進む幼児期はモノに対する自分の行動についても善悪の判断が芽生えてくる。
- ・親や周りの人の反応から、良い行動と悪い行動に気づくことができるようになり、自分としての善悪の枠組みをつくる。その枠組みは必ずしも大人と同じではないが、様々のトラブルを通して大人の善悪に近づいてくる。

そこで、幼児の発達段階でどのような変化がみられるか実験を行いたいと考えた。

### 2. 研究の目的

3 歳児・4 歳児・5 歳児の園児を対象に発達段階における幼児期の道徳的価値判断について、どのような違いがあるかを調査する。(園児一人ひとりの心の動きをとらえる)

### 3. 研究の方法

#### (1) 研究協力園

学校法人 健伸学院・健伸幼稚園 (千葉県船橋市)

#### (2) 調査期日

平成 21 年 9 月 14 日・15 日の 2 日間

(3) 対象児

- ・ 3 歳児 (3 ヶ月) 7 名 (10 ヶ月) 1 名
- ・ 4 歳児 (3 ヶ月) 8 名
- ・ 5 歳児 (3 ヶ月) 5 名 (10 ヶ月) 3 名

調査対象児は各学級から無作為に抽出した。

(4) 調査方法

調査員 2 名 (本大学の調査員)。2 部屋に分かれて園児と 1 対 1 の個別調査で実施

- ①個人面接により課題の絵を見せながら聞き取り調査
- ②絵は 1) 女兒の笑顔 3 枚、2) 女兒の普通の顔 3 枚、3) 光ったコップ 1 枚、4) 割れたコップ 1 枚
- ③テーブルといす、テーブル上に IC レコーダー、
- ④質問内容の質問 1～質問 9 までは次の視点から調査した。

質問 1～質問 3 は動機

質問 4～質問 6 は経過

質問 7～質問 8 はレッテル

質問 9 は総括

(5) 調査の内容

面接者は幼児と隣り合わせに座り、

質問 1) はなちゃんがお手伝いしてしていました

そしたらコップが落ちて割れてしまいました。

花ちゃんは、いい子かな、また悪い子かな

「答える」

それはどうしてかな

そう有難う。

質問 2) 今度は、みよちゃんがふざけてコップで遊んでいました

そしたらコップが綺麗になりました。

みよちゃんは、いい子かな、悪い子かな。

それはどうしてかな

質問 3) 今度は、みこちゃんがふざけていてコップで遊んでいました。

そしたらこっぷが割れてしまいました。

みこちゃんは、いい子かな。悪い子かな。

それはどうして

以下、上記と同様にはなちゃん、みよちゃん、みこちゃんが行ったことを幼児に質問した。

質問 4) 一生懸命手伝っていたがコップが落ちて割れた。

いい子、悪い子。それはなぜ

質問 5) いやいや手伝っていたが、コップは綺麗になった。

いい子、悪い子、それはなぜ

質問 6) いやいや手伝っていた。コップが落ちて割れた。

いい子、悪い子。それはなぜ

質問 7) いたずらっ子がママのお手伝いをしていた。

いい子、悪い子。 それはなぜ

質問 8) やさしい子がママのお手伝いをしていた。

いい子、悪い子。 それはなぜ

質問 9) やさしい子であるがママのお手伝いをしなかった。

いい子、悪い子。 それはなぜ

#### 4. 研究の内容

道德性と言っても幼児期の中に善悪の判断が身に付くとは限らない。幼児は幼児らしい生活を展開する中で心地よい体験や、心地よくない体験を繰り返して自分の世界を広げて自己形成が図られていく。その過程で自分の思い通りにならないことに気付いたり、判断しなければならなくなったりして他とのかかわりや自分の態度について培われていく。重要なのはこれらのことが必要感のある生活から生まれてくることである。幼児が自分の周りの状況を感じ取り、自分の感覚でとらえ自ら判断していくようになり良いこと、悪いことのような出会いによって道德性が芽生え、形成されていくのである。

##### (1) 質問内容

各対象児に同じ質問を行う。 質問数は9問であった。

##### ⑬ 3歳児を対象

子どもと向かい合い、女の子の顔のイラストと、きれいなコップ、壊れたコップの絵を見せながら、女の子が何をしたのかをお話しします。

T:「はなちゃんがお手伝いしていました。そしたらねコップが割れてしまいました。

はなちゃんはいいい子かな、悪い子かな」

C:「悪い子」

T:「そう悪い子なのね、それはどうして」

C:「コップが割れたから」

T:「そう、コップが割れたからなのね。ありがとう。」

この問題は、子どもが動機を善悪の判断の材料にするか、結果を基準にするかの違いが見られた。お手伝いをしていたことは判断の材料にはしないで、コップが割れてしまったという結果によって「悪い子」と答える子どもがほとんどであった。



図1 「はなちゃん」「みよちゃん」「みこちゃん」



図 2 [コップを割ってもお手伝いしたからいい子]

次の質問は

T:「みよちゃんがふざけてコップで遊んでいたら、コップがきれいになりました。みよちゃん  
は、いい子かな、悪い子かな」

C:「いい子」と返事があった。

今度はふざけていたにもかかわらず「コップがきれいになったから」という理由でほとんどの  
子が『いい子』と答えた。

次に、どんな経過をたどったか、プロセスを判断材料にするしかない問題を質問した。

T:「はなちゃんがね、一生懸命、お手伝いをしていたの、そしたらコップが落ちて割れてしま  
いました。はなちゃんはいいい子かな、悪い子かな」

C:「はなちゃんは、悪い子」

T:「はなちゃんは悪い子ね、ありがとう。」

コップが割れてしまったから、悪い子と答える子どもがほとんどである。

次の質問と回答は以下の通りであった。

T:「みよちゃんが、いやいやお手伝いをしていました、そしたらコップがきれいになりました。  
みよちゃんは、いい子、悪い子」

C:「いい子」と答えた。

3 歳児ではどんなプロセスを経ているかにかかわらず、コップが割れたか、きれいになったか  
の結果のみで判断している。

親が「あの子は悪い子だよ」と日ごろから言っていると、子どもは、その子どもがどういう行  
為をしたかを判断の材料にしないで「あの子どもは悪い子だ」と考えがちである。そこで保護者  
や保育者による子どもへのレッテルが、子どもの善悪判断にどう影響しているかの質問を試みた。

T:「いたずらっ子が、ママのお手伝いをしていました。いい子かな、悪い子かな」

C:「いい子」と、ほとんどの子どもはレッテルよりも好意を重視しているようです。

T:「やさしい子が、ママのお手伝いをしませんでした。いい子かな、悪い子かな」

C:「悪い子」とほとんどの子どもは、お手伝いをしないという行為を重視している。

3 歳児では動機やプロセスにかかわりなく、すべて結果から物事の善悪を判断しており、結果が示されない場合、いたずらっ子、優しい子、というレッテルよりも、お手伝いをしたか、しないという 行為で判断しているのである。

3 歳児でも日ごろ、家庭生活での親や兄弟の対応（環境）によって違った反応を示す子どもが数名いた。

例えば、「お手伝いをしていてコップを割ってしまったはなちゃん」のことを、「お手伝いをしていたからいい子」と答えた。動機を考慮して答えたかと思っていたが「みよちゃんがふざけてコップで遊んでいました、そしたらコップがきれいになりました。いい子かな、悪い子かな」の質問に「コップが光っているから、いい子」と答えた。この子ども達はどの質問にも、ただ「いい子」と答えていた。

A 男はどの質問にも徹底してよい面を見出して『いい子』と答えた。B 子は A 男と同じようにみよちゃんの絵を見て「笑っているからいい子」と答え、質問の内容ではなく絵の顔の表情を見て肯定的にとらえようとしていた。また、「いやいやお手伝いをしていたがコップが割れました、いい子かな、悪い子かな」の質問には「目を見たらいやいやに見えないからいい子」と答えていた。

#### ②4 歳児への対応

4 歳児も 3 歳児と同じように「いい子、悪い子」については多くの子どもが結果から判断している。

しかし、判断に迷う子ども、質問がおかしいと感じた子どもも数名見られた。

T:「はなちゃんがお手伝いしたのにコップが割れてしまいました。いい子かな、悪い子かな」

C:「悪い子」と答える。

T:「どうして悪い子かな」

C:「分からない」また「コップを割ったけど仕方ない」

T:「一生懸命お手伝いしていたのにコップが割れてしまいました。いい子かな、悪い子かな」の質問をした。

C:「いい子か悪い子かどちらにも決められない。」と迷っていた子どもがいた。

T:「いやいやお手伝いしていたけれどコップがきれいになりました。いい子かな、悪い子かな」

C:「どうしてこんなことがあるの」と疑問を持つ子どももいた。

4 歳になると、同じ結果であっても、動機や行為を考えて状況判断をするようになる。『なぜよいのか、なぜ悪いのか。』結果だけではなく動機や行為を思い起こして、自分なりの善悪の基準を作っていこうとしていることが理解できる。自ら考えてみて矛盾を感じたものについては「分からない」と回答するようになる。



図 3 [わかんない]



図 4 [遊んでいてコップがきれいになるなんてありえないよ]

### ③5 歳児への対応

5 歳児も結果から判断する子どもは多いが

T:「みよちゃんがふざけて遊んでいたらコップがきれいになりました。いい子かな、悪い子かな」

C: じっと質問者の顔を見て「こんなことありえないしわかんない。」と答えた。

大人の善悪判断と同じように、因果関係を考えている様子がうかがえた。動機や努力したかどうかを評価の対象としていることが分かった。

また、質問の内容だけでは善悪の判断が難しいと悟った子どもは、じっと絵を見て判断の手がかりを見つけていた。例えば、「いやいや手伝っているのにコップがきれいになった」というような答えの難しい質問には C: 絵をじっと見つめて「かわいい子だから、いい子」と答えた。

### ④まとめ

一般的に幼児はコップを壊してしまった、という物理的結果、つまり、目に見えて自分にとって分かりやすい結果で善悪の判断をしていることが分かる。

また、「いたずらしている子がお手伝いをした」という質問にも、行為、努力がよければ「いたずらっ子は悪い子」というレッテルには影響されずに、「いい子」と善悪の判断ができる。

5 歳児になるにしたがって、動機を少しずつ考え始め、4 歳児では動機と結果が矛盾する場合

に、単純に結果で判断してはいけないよさだということが理解できるようになり、迷ったり、分からなくなったりする子どもが見られた。

5 歳児になると、いいことをしたから、努力したから、結果が悪くても、いい子と答える子どもが出てきて、動機や行為を評価の対象にするようになってきている。

### 5. 結果・考察

(1) 幼児期の道德性の芽生えは 1・2 歳からはぐくまれてきて、3 歳児以上は顕著になる。

3 歳児・4 歳児・5 歳児を比較すると道德的価値判断は発達段階により違いが見られる。

(2) 5 歳児は他者とのかかわりを考えて判断できるが、3 歳児は相手の気持ちや意図など目に見えないことを考慮することは困難である。

#### ①3 歳児

善悪の判断は結果から見ただけの判断によるものである。3 歳児の一人は絵を見て、顔がいいからすべて「いい子」とした。(判断できない)

#### ②4 歳児

行為の因果関係を考えて善悪の判断ができる。状況判断に矛盾を感じるものは「分からない」と答えた。

#### ③5 歳児

善悪の価値観は家庭の影響、また幼稚園での他者との関係など道德性(価値判断)が顕著である。

### 6. 結論 (総合考察)

(1) 幼児・児童の能力育成システムについて

①子どもはよりよく生きようとしている。

人間は生まれたときから生きることへの欲求と本能をもっている。そして、生への欲求を満たす基本的な行動は、事象をうまく行おうとする適応能力とともに、よりよく維持していこうとする創造的な能力が発揮される。

②子どもは理想的な価値を志向する。

人間は他の動物にない感性や理性を備え高度な精神活動を営むことができる。それは幼児の段階から様々な体験や経験を通して複雑な精神活動が営まれていく。

③子どもは具体的な日常生活の中でよさを発揮する。

子どもはよりよく生きようとする欲求や理想的な価値への志向性は様々な社会的なかかわりを通して自らの良さとして形成されていく。

(2) 本節の位置づけ

幼稚園教育要領の「指導計画作成上の留意点」には「一般的な留意事項」と「特に留意する事項」が示されている。本節では道德性の芽生えを培う指導を中心課題とした。

(3) 結果からの提言及び展望

これまで道德性に関する指導はいたずらにそれを避けようとしたり、性急に物事の善悪の判断を知識として理解させようとしたり、行動を規制したりする傾向が見られた。しかし、幼児期は人格形成の基礎を培う時期であるため人間としてより良い生き方の基盤となる道德性の芽生え

を培う指導のあり方を理解して保育・指導に当たることが大切である。

(4) 保護者および現職保育者・教員の指導能力育成教育システムの構築について

①指導計画の作成について検討する。

各幼稚園が編成した教育課程を実施するために、ア) 指導の順序、イ) 指導内容、ウ) 指導方法について具体的にしたもの。

②実態の把握について検討する。

実態把握の中心は幼児の実態であり、幼児を取り巻く環境としての幼稚園、地域、家庭（父母の養育についての考え方・傾向）をとらえる。

(5) 保護者・教員の志望者（学生）を対象とした指導能力育成教育システムの構築について

基本的には（4）と同じである。特に、保護者および教員志望者自身の道徳的資質を検討する必要がある。社会の一員として自立し、社会規範や思いやり、正義感・倫理観、異質なものへ寛容の精神について身に付けるため、研修・研究の機会を設定することが大切である。

## 7. 道徳性の指導に関して現場教員へのアンケート

(1) 実施期間

: 平成 22 年 10 月 1 日から 25 日

(2) 対象

: 東京都内の公立小学校 8 校の低学年担任教員 20 名に対して調査を実施した。

(3) 質問 1 順番のルールの学習について

①質問 1

: ブランコや滑り台の順番がきちんと守れない。道具を独占的に使う子どもにルールを学ばせるにはどうしたらよいか。

②回答

: ルールを学ぶことは日常の教育活動の中で指導を重ねることである。その際、ただ「守りなさい」ではなく意味づけをしっかりとすることである。また、決めたことが守れなかった場合は、許さない毅然とした態度を一貫して取ることである。

大人がルールを守る姿を見せることと、保護者への啓発も必要である。

③具体的な事例

・クラスでブランコの乗り方や、何回こぐかなどの約束ごとや、ルールを決めてみんなで話し合っ  
て決めたのであるからしっかり守らせる。

・一人だけ長く乗っていると、その子どもは楽しいけれど他の子どもで乗って遊びたい子どもの  
ことを考えたり自分が長い間待たされたりしたらどんな気持か、みんなで話し合わせる。

・個別にルールが守れた時は褒める。

・ブランコは一人当たりの時間を決めて遊ばせる。

・ルールを守れない子どもは一時使用させない。その理由を説明して分からせる。

・自分の体験したこと、(したこと、されたこと) を振り返らせその時の気持ちを考えさせ、話  
し合わせる。

(4) 質問 2 聞く・話すときのルールについて



①質問 2

: 人の発言を遮って自分の言いたいことばかり主張する。集団の中で聞く、話すルールを守らせるためにはどう指導するか。

②回答

: 人の話は最後まで聞くように日ごろから指導する。話を最後まで聞かないで話をする子どもの発言は取り上げないようにする。よく話を聞く子どもを褒める。

③具体的な事例

- ・ 人の話を遮った時はその都度注意し、話の最後に質問の時間を必ず持つことを習慣化する。
- ・ クラスで約束をして一人ひとり守らせる。
- ・ 日常的にスピーチ、読み聞かせ等、人の話を聞く場面を設定し、クラスの中でのルールを決める。
- ・ 人の話を遮って話しかけた場合すべての話をストップして本人が気付くのを待つ。

(5) 質問 3 禁止事項の遵守について

①質問 3

: 看板に注意が書かれている意味が分かっているのに、禁止されていること（入るな、捨てるな、騒ぐな、等）を破って行動する。どう指導するか。

②具体的な事例

- ・ なぜそのような看板があるか丁寧に説明する。
- ・ なぜそのような看板があるか、みんなで話し合う。みんなが約束を守らなかったらどうなるかなどを考えさせる。
- ・ 禁止されていることを破ることが 1) 「わがまま」であるか、2) 「意図的」(わざと) であるか判断して、1) の場合はいけないと教え込む。2) の場合は原因を探り、その原因についての対処を考える
- ・ 自分の行動を振り返らせて、もしこのような行動があればなぜ、そうしたか考え、その時の気持ちを話させる。
- ・ このような行為は誰が、どのように困るか、具体的に考えさせる。

## 8. 参考・引用文献

<引用文献>

文部科学省「子どもの徳育の充実に向けたあり方について（報告）2010年 P1 文頭3行

<参考文献>

- ・ 「道徳教育」押谷由夫 ミネルヴァ書房 1994
- ・ 「身体、自我、社会」ワロン ミネルヴァ書房 1983
- ・ 「子どもの道徳的自律の発達」首藤敏元・二宮克美共著 風間書房 2003

### 謝辞

本大学の研究テーマを健伸学院の柴田理事長様と共同研究を提案しましたところ、ご賛同いただき柴田衣子園長様はじめ教職員の皆様の積極的なご協力により研究のまとめができましたことを心より感謝申し上げます。

【資料】子どもたちの質問に対する反応

1. 年少組 (1) 3 歳児

	質問	J 男 10 ヶ月	K 女 3 ヶ月
①	お手伝いしてコップが割れた	おてつだいしたからいい	割ったからだめ
②	ふざけてコップがきれいになった	コップが光っているからいい	コップが光っているからいい
③	ふざけてコップが割れた	ふざけてだからいい	コップを割ったからだめ
④	一生懸命手伝うがコップが割れた	一緒懸命だからいい	コップを割ったからだめ
⑤	いやいや手伝うがコップはきれい	コップが光っているからいい	コップが光っているからいい
⑥	いやいや手伝うがコップが割れた	わざとでないからいい	コップを割ったからだめ
⑦	いたずら子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑧	やさしい子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑨	やさしい子がお手伝いしない	やさしい子だからいい	お手伝いしないからだめ

2. 年少組 (2) 3 歳児

	質問	T 男 3 ヶ月	A 女 3 ヶ月
①	お手伝いしてコップが割れた	コップを割ったからだめ	どうして。 どっちだか分からん。
②	ふざけてコップがきれいになった	コップが光っているからいい	コップが光っているからいい
③	ふざけてコップが割れた	コップを割ったからだめ	笑っているからいい
④	一生懸命手伝うがコップが割れた	コップを割ったからだめ	一生懸命だからいい
⑤	いやいや手伝うがコップはきれい	コップが光っているからいい	コップが光っているからいい
⑥	いやいや手伝うがコップが割れた	コップを割ったからだめ	目を見てもいやに見えない
⑦	いたずら子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑧	やさしい子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	目がやさしいからいい
⑨	やさしい子がお手伝いしない	お手伝いしないからだめ	目が笑っているからいい

3. 年中組 (1) 4 歳児

	質問	I 男 3 ヶ月	S 男 3 ヶ月
①	お手伝いしてコップが割れた	あまりどちらとも決められない	割ったからだめ
②	ふざけてコップがきれいになった	ふざけてもきれいだからいい	コップが光っているからいい
③	ふざけてコップが割れた	コップを割ったからだめ	割ったからだめ
④	一生懸命手伝うがコップが割れた	コップを割ってもしょうがない	割ったからだめ
⑤	いやいや手伝うがコップはきれい	どうしてこんなことあるのか	コップが光っているからいい
⑥	いやいや手伝うがコップが割れた	コップを割ったからだめ	割ったからだめ
⑦	いたずら子がお手伝いした	いたずらっ子だからだめ	お手伝いしたからいい
⑧	やさしい子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑨	やさしい子がお手伝いしない	お手伝いしないのでちょっとだめ	お手伝いしないからだめ

## 第 11 章 未来型のこどもの道徳観と促進法

### 4. 年中組 (2) 4 歳児

	質問	Y男 3ヶ月	A女 3ヶ月
①	お手伝いしてコップが割れた	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
②	ふざけてコップがきれいになった	コップはきれいだからいい	いいけど分からない
③	ふざけてコップが割れた	コップを割ったからだめ ふざけていたからだめ	だめ なぜか分からない
④	一生懸命手伝うがコップが割れた	割ったからだめ	だめなぜか分からない
⑤	いやいや手伝うがコップはきれい	コップが光っているからいい	いいけど分からない
⑥	いやいや手伝うがコップが割れた	いやいやで割ったからだめ	だめでも分からない
⑦	いたずら子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	分からない
⑧	やさしい子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑨	やさしい子がお手伝いしない	お手伝いしないからだめ	お手伝いしないからだめ

### 5. 年長組 (1) 5 歳児

	質問	S男 10ヶ月	Y男 10ヶ月
①	お手伝いしてコップが割れた	かわいい子だからいい	割ったからだめ
②	ふざけてコップがきれいになった	かわいい子だからいい	こんなことありえない、分からない
③	ふざけてコップが割れた	コップをふざけて割ったからだめ	割ったからだめ
④	一生懸命手伝うがコップが割れた	割ったからだめ	一生懸命したからいい
⑤	いやいや手伝うがコップはきれい	かわいい子だからいい	いやいやだからだめ
⑥	いやいや手伝うがコップが割れた	割ったからだめ	割ったからだめ
⑦	いたずら子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	いたずらだからだめ
⑧	やさしい子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑨	やさしい子がお手伝いしない	お手伝いしないからだめ	お手伝いしないからだめ

### 6. 年長組 (2) 5 歳児

	質問	K女 10ヶ月	S女 3ヶ月
①	お手伝いしてコップが割れた	割ったからだめ	割ったからだめ
②	ふざけてコップがきれいになった	綺麗にしたからいい	光っているからいい
③	ふざけてコップが割れた	コップを割ったからだめ	割ったからだめ
④	一生懸命手伝うがコップが割れた	割ったからだめ	割ったからだめ
⑤	いやいや手伝うがコップはきれい	きれいにしたからいい	光っているからいい
⑥	いやいや手伝うがコップが割れた	割ったからだめ	割ったからだめ
⑦	いたずら子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑧	やさしい子がお手伝いした	お手伝いしたからいい	お手伝いしたからいい
⑨	やさしい子がお手伝いしない	お手伝いしないからだめ	お手伝いしないからだめ